

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年9月8日 (2016.9.8)

【公表番号】特表2016-510400(P2016-510400A)

【公表日】平成28年4月7日 (2016.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-021

【出願番号】特願2015-551658(P2015-551658)

【国際特許分類】

G 0 1 S 7/02 (2006.01)

G 0 1 S 7/28 (2006.01)

G 0 1 S 7/03 (2006.01)

H 0 4 B 7/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 7/02 2 1 6

G 0 1 S 7/28 2 2 0

G 0 1 S 7/03 2 2 0

H 0 4 B 7/10 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月11日 (2016.7.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のアクティブ両面フェーズドアレー (A P A s) を有するレシーバー／トランスミッターであって、トランスミッター／レシーバーモジュールを有し、各トランスミッター／レシーバーモジュールは、2 個の放射素子、トランスミッター、2 個のレシーバー、2 個の絶縁スイッチ、ミキサー、移相器を備え、前記複数のアクティブ両面フェーズドアレーは、一次元または二次元として製作され、これらは全方位の監視が継続的に可能となるように、水平面とのなす角度が 7 5 ~ 1 0 5 度になるように配置され、トランスミッター／レシーバーモジュールには追加の移相器が備えられ、前記両移相器のそれぞれは、セレクタースイッチを介して 1 個のレシーバーまたはトランスミッターに固定接続され、トランスミッターは、セレクタースイッチおよびサーキュレータを介して放射素子に接続され、レシーバーの受信モードの異なる周波数および符号化技術に対応して、異なる周波数および／または異なる信号符号化技術を使用することにより、放射素子への交互の接続が可能となり、互いに異なる方向に少なくとも 2 つの独立したビームを形成することが可能となり、前記複数のアクティブ両面フェーズドアレーは、水平面および／または垂直面に対して距離をおいてそれぞれ配置される、レシーバー／トランスミッター。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の複数の二次元 A P A s を有するレシーバー／トランスミッターであって、前記アクティブ両面フェーズドアレーの2 つのパネルは、垂直面に対して同じ角度で配置可能である、複数の二次元 A P A s を有するレシーバー／トランスミッター。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の複数の二次元 A P A s を有するレシーバー／トランスミッターであって、レシーバー／トランスミッターの上部および／または下部に配置された少なくとも 1 系統のレーダーまたは通信ステーションに追加的に設けられ、上方向および／または下方

向に放射するために、2面を走査することができるよう製作された、複数の二次元A P A sを有するレシーバー/トランスミッター。

【請求項4】

請求項3に記載のレシーバー/トランスミッターであって、レーダーまたは通信ステーションは、二次元アクティブ片面フェーズドアレーとして製作される、レシーバー/トランスミッター。

【請求項5】

請求項3に記載のレシーバー/トランスミッターであって、レーダーまたは通信ステーションは、請求項1のトランスミッター/レシーバーモジュールを備えた二次元アクティブ両面フェーズドアレーとして製作され、水平面および垂直面に対して、複数のレシーバー/トランスミッターを距離をおいてそれぞれ配置した、レシーバー/トランスミッター。